

信州大学医学部附属病院 産婦人科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2019年2月5日

「劇症型 A 群溶連菌感染症による妊産婦死亡低減に向けた早期医療介入のための他施設共同・後方視的観察研究」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4268
研究課題名	劇症型 A 群溶連菌感染症による妊産婦死亡低減に向けた早期医療介入のための他施設共同・後方視的観察研究
所属(診療科等)	産婦人科
研究責任者(職名)	菊地範彦 (講師(特定雇用))
研究実施期間	倫理委員会承認日～2021年6月30日
研究の意義、目的	劇症型 A 群溶連菌感染症を発症した妊産婦の救命のための早期診断・早期介入に向けた指針策定のための情報を発信し、我が国の妊産婦死亡を低減させることを目的としています。
対象となる患者さん	2010年4月1日から2017年3月31日の期間に当院で劇症型 A 群溶連菌感染症について医療を受けられた妊産婦の方。
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、臨床経過など。
他機関への試料・情報の提供方法	郵送により提供します。
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、妊産婦の劇症型 A 群溶連菌感染症と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	東邦大学医療センター大森病院 産婦人科(責任者:中田雅彦)
研究代表者	主任施設の名称:東邦大学医療センター大森病院 産婦人科 研究責任者:中田雅彦
問い合わせ先	菊地範彦 (産婦人科 講師(特定雇用)) 電話:0263-37-2719

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、主任施設である東邦大学医療センター大森病院に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。